

目標達成計画

作成日 : 平成 30年 10月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		理念に職員が向かい合えるような取り組みや、外部への啓発の意味でパンフレットなどへ記載されることを期待する。	パンフレットの掲載をする。 職員の心のより所になれるようにする。	パンフレット記載を行う 理念の勉強会を行い、職員と一緒に意味を考え、理念の本質を理解し、介護の方向性を見失わないようにする。	6ヶ月
2		地域消防団の協力を得た訓練の実施の為、まずは消防団による見学の実施、又、法人内の協力体制の構築。 地震・水害による訓練の開催(とりあえず机上でも)	地震・水害訓練を行う 法人内での合同委員会の開催	地震・水害訓練をまず、机上で行う 法人内の火災訓練も検討する。	6ヶ月
3		食事の際、可能な限り職員も一緒にテーブルに入り食事をとっていただき、会話を弾ませてほしい。	食事を一緒に摂取する。 会話をしながら利用者の摂食状況の観察を行う	利用者と職員一緒に食事を行う。 職員によっては、別のところで食べられたり、休憩時間が無くなるなどがあるため、徐々に移行していく。	3ヶ月
4		浴槽内の窓に置かれたシェーバーは、安全面や浴室環境を損なうことから、見直しの検討をしてほしい。	窓に置かず外観を保つ	窓に置いた小物関係は、ユニット管理し入浴時に持っていくこととする。	3ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。